

仙台製油所における石油製品輸送支援訓練について

～みちのくアラート2014の実施～

記者各位

当社(社長:杉森 務)仙台製油所において、本日、陸上自衛隊東北方面隊による震災対処訓練(みちのくアラート2014)が実施されましたので、お知らせいたします。

本訓練は、陸上自衛隊東北方面隊と東北経済産業局が、広域・大規模地震・津波災害に備え、人命救助を行う自衛隊への石油供給の円滑化と、自衛隊による避難所等で使用する民生用石油輸送の体制強化に向け、民間の製油所や油槽所を活用して実施した合同訓練です。

当社は、燃料輸送に関する訓練に参加し、仙台製油所の陸上出荷積場において、自衛隊の燃料タンク車へ軽油を積み込む作業を実施し、滞りなく終了いたしました。また、今回の訓練にあわせ、本社および仙台製油所に模擬的に災害対策本部を設置し、仙台製油所の被災状況確認、当社に対する出荷要請対応、当社内での出荷手続きについての模擬訓練も実施いたしました。

なお、自衛隊の燃料タンク車が民間の製油所に入構するのは、今回の訓練が初の試みであり、本訓練を通して得た知見をもとに、当社グループの他の製油所・製造所においても、自衛隊の燃料タンク車への燃料積込作業が実施可能な体制を構築してまいります。

当社は、東北地方唯一の製油所である仙台製油所における石油製品の生産・供給を通じて東北地方の復興に貢献するとともに、当社が策定したBCP(事業継続計画)に関しても、継続的に見直しを行い、実効性のある対策を推進することで、防災・減災に努めてまいります。



入構の様子



軽油積み込み作業

以上